

# 職場から見るジェンダー平等

## 【背景・目的】

男女平等ランキングで日本は 156か国中 120位という過去最低の順位をたたき出してしまった。そこで私たちはなぜそこまで順位が低いのかと疑問を持ち、男女不平等に関する問題がよく問われる職場に焦点を当てて、真のジェンダー平等の実現について追求しようと思い、この探究テーマを設定した。

## 【結果】

- ・男女平等ランキング 1位 アイスランド(0.892)  
2位 フィンランド(0.861)  
3位 ノルウェー(0.849)  
...120位/153か国中 日本(0.656)

先進国の中では  
最低

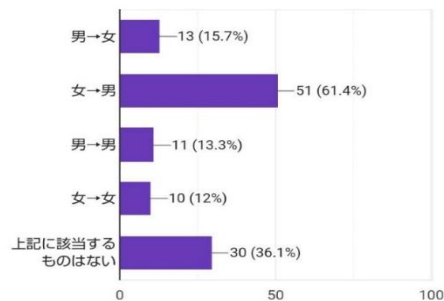
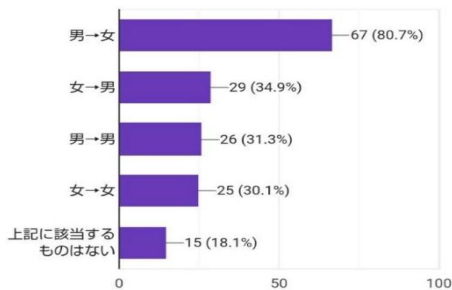
\* ( )内はジェンダー平等指数であり、1が完全平等

- ・育休取得率 女性 2005年 72.3% 2018年 82.2%  
男性 2005年 0.5% 2018年 6.16%  
⇨アイスランド 男性 2018年 85%

- ・男女差別の世間の認識(アンケートによる調査)

セクハラの正しい形態は？

逆セクハラの正しい形態は？



セクハラの定義には男女区別はないので、「逆セクハラ」という言葉は存在しないはずだが、このアンケートの結果から、世間はセクハラは男性から女性に行われるものだという認識を持っていることが分かった。

- ・SDGs 「あらゆる場所におけるすべての女性および女子に対するあらゆる形態の差別を撤廃する」など女性についてのみ差別が指摘されており、これは偏った視点から考えられたものであるといえる

## 【結論・考察】

- ・日本は海外に比べると、「男性は仕事、女性は家庭」という認識が昔から根強く残っている
- ・男性差別への認識が薄い
- ・女性の社会進出を進める裏で生じてしまう男性被害があり、男女平等実現の悪循環が生まれてしまっている
- ・これからの社会では男性、女性のどちらかに偏った政策ではなく、両方向の視点から考えられた政策が求められる

## 【参考文献】

Sustainablejapan.jp

<https://webronza.asahi.com>

<https://www.gourmetcarea.jp>